



の が き 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2023年12月6日 No.171 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

後期高齢者の医療費窓口負担

2割に引き上げられてから “受診控え” が明らかに

◆「後期高齢者医療広域連合議会」とは？

75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療の予算を定めたり、条例の制定・改廃等を審議・決定する機関。議員は62区市町村から選ばれた議員31人で構成。任期は2年。2023・24年度は杉並区はくすやま区議。

11月24日、東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催され、日本共産党杉並区議団のくすやま美紀議員は2022年度の決算認定について質疑と討論を行いました。
2割負担で受診日数は減少 医療費は38億円削減
2022年度は、保険料の引き上げに加え、10月から一定の所得のある高齢者の窓口負担が1割から2割に引き上げられました。
くすやま議員の質疑で、東京全体では1割負担だった被保険者のうち、26・4%の人が2割負担となったこと。さらに、2割負担になる前後の受診日数を比較すると、2割負担の人は1割負担の人より0・13日少なかったことが分かりました。2割負担の導入が受診抑制につながったことは明らかです。

「後期高齢者医療広域連合議会」とは、75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療の予算を定めたり、条例の制定・改廃等を審議・決定する機関。議員は62区市町村から選ばれた議員31人で構成。任期は2年。2023・24年度は杉並区はくすやま区議。

また、2割負担の人が仮に1割負担だった場合との比較では、約38億円の医療給付費の削減となったことも示されました。
くすやま議員は、「これまで月に1回通院していたが2カ月に1回にした」"在宅医療は自己負担が高いので往診の回数を減らした"などの声を聴いている。高齢者が経済的な理由で必要な医療を控えている事態をどう認識しているのか」と質問。広域連合の担当課長は、「大きな受診控えにつながっているとは考えていない」との認識を示しましたが、引き続き、調査を行ってみたいと答えました。

◆都全体の負担割合別の人数

1割 105万6124人
2割 38万3593人
3割 23万9777人

◆22年度の保険料滞納者数 3万1189人
(前年度比5547人、21.6%の増加)

元の1割負担に戻せ

討論では「高齢者の多くは定期的に受診が必要な病気を抱えている。年金の引き下げや物価高騰がくらしを直撃しており、元の1割負担に戻すこと、来年度の保険料についても引き上げるべきではない」と意見を述べ、決算認定に反対しました。
来年度も大幅値上げ
後期高齢者医療保険料は、2年毎に見直しされていますが、毎回値上げが続いています。2024・25年度の保険料については、来年1月の広域連合議会に正式に提案されますが、既に示された保険料案は、一人当たり8,932円の大幅値上げとなるものです。「値上げやめよ」の世論を広げましょう。

一人当たり平均保険料額(案)

特別対策あり算定案

2022 23年度	104,842円
2024 25年度	113,774円
増減	8,932円
増減率	8.5%

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり オープンハウスを行います

振り返る会に2555名！

杉並区は住民との対話の場として、8月と10月に「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりを振り返る会」を開催し、計2555名の住民や事業者が参加しました。

私も8月に参加しましたが、参加者からは「杉一小を移転しないで欲しい」「杉一小移転は防災上どうなのか」「病院跡地は除染して公園に」など、活発な質問や意見が出されていました。



▲8月の振り返る会の様子

オープンハウスを開催

区は12月に下記の日程でオープンハウスを開催します。パネル展示の前で区の職員が説明し、参加者から意見を聴きます。

オープンハウスの日程

- 12月13日(水)午後5時～8時
阿佐谷地域区民センター2階
- 12月18日(月)午前10時～午後1時
産業商工会館1階展示室
- 12月23日(土)午後2時～5時
杉並第一小学校体育館

◆事前の申し込みは不要です。

各日、終了前の1時間程度、参加者同士で意見交換できる場所を設ける予定です。

パネル展示を要望し実現

オープンハウスで使用するパネルを12月14日(木)～22日(金)で阿佐谷地域区民センターの1階ロビーで展示します。広く住民に周知するため、党区議団の小池めぐみ区議が区に要望し、実施することになりました。

アンケートも実施します

来場できない方はアンケートもあります。こちらの二次元コードからも区に意見を送ることができます。



アンケート

ガザ人道支援募金

にご協力をお願いします。

募金は全額を国連児童基金(ユニセフ)に届け、ガザの人々への支援に充てます。

郵便振替 口座番号
00170-9-140321

加入者名
日本共産党災害募金係

通信欄に[ガザ募金]と記載のこと。

西武新宿線の地下化と複線シールド工法の検討を求める署名にご協力を！

住民連絡会は2月の都議会での審議に向け、引き続き署名に取り組んでいます。みなさんのご協力をお願いします。ご連絡くだされば署名用紙をお届けします。



あきりの部屋

映画「翔んで埼玉」の新作を観ました。極端なギャグ作品ですが、埼玉出身者として一応は見ておかなければと思いました。

今回は敵が大阪という設定。もちろんフィクションですが、どこか大阪維新の会を彷彿させる…と感じたのは私だけではないでしょう。サブタイトルは「琵琶湖より愛をこめて」で、滋賀県がキーワードです。主人公たちが「埼玉解放戦線」のメンバーは船で命辛々、関西に遠征します。

時代設定は不明。戦国時代風の合戦シーンがある一方、ミサイルなどの描写があるのは残念ですが、埼玉解放戦線の「差別をなくす」「自由と平和を求める」という目的には賛同できます。

今年七月に一度は映画を観たと思います、このコーナーでも何作か紹介してきました。コロナ禍以降、映画館や舞台関係者は大変ですが、芸術は私たちの心の栄養となり、世界観を広げてくれるので応援したいですね